

平成30年度学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立翠星高等学校
学校長 稲葉 幹雄

1 教育目標

- ① 自然と人間の関係を重視した教育を施し、心豊かな人間を育成する。
- ② 生徒一人一人の興味・関心に基づく主体的な学習を促し、生涯にわたって継続的な学習をする意欲や態度を育成する。
- ③ 自己の進路への自覚を深め、積極的な判断力と実践力を養い、社会の変化に柔軟に対応できる資質や能力を身につけ、創造性豊かな人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① これからの新しい時代に向けて、農業の技術革新、六次産業化を踏まえた農業教育及び人材育成が必要となっている。そのため、時代に対応したキャリア教育の充実が必要である。
- ② 農業専門分野に興味・関心があり専門の学習に積極的に取り組む面もあるが、基礎学力の定着や学習意欲の向上が十分とは言えない。そのため、更に授業の工夫や改善に取り組む必要がある。
- ③ 社会人として必要な生活習慣が身につけていない生徒もおり、規範意識の醸成と挨拶、言葉遣い、服装、マナーなど生活習慣の確立を図る必要がある。
- ④ 農業高校として地域に根ざした活動を推進し、地域の発展に貢献できる人材の育成の必要がある。
- ⑤ 活発に活動している部や研究会もあるが、学校全体としては十分とは言えない。そのため、更に学校をあげて部活動活性化を推進していく必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 新しい時代の農業に積極的に貢献する意欲や実践的技術を身につける。
- ② 地域の「食」と「農業」と「環境」の問題に積極的に関わる意欲と態度を育成する。
- ③ 基礎学力の定着を図り、主体的な学習を促し生涯にわたって学ぶ意欲と態度を育成する。
- ④ 社会人として必要な生活習慣や規範意識、マナー及びコミュニケーション能力を育てるとともに、職業意識の涵養を図る。
- ⑤ 部活動や研究会活動、農業クラブ活動、ボランティア活動に積極的に参加する生徒を増やす。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教科の専門力を高め、確かな学力の定着に向けた授業の工夫や改善に積極的に取り組む。
- ② 生徒とともに部活動や研究会活動等に積極的に関わり、活力のある学校づくりを推進する。
- ③ 教育目標の実現に向けて、各分掌の主任がリーダーシップを発揮し組織的な校務の運営を図る。
- ④ 教育活動の組織化を推進し、校務の効率化を図り、ワークライフバランスの確立に努める

3 今年度の重点目標

- ① 地域の食や農業、環境問題に積極的に関わり、地域の活性化に貢献する意欲と態度を育成する。
- ② 学習意欲の向上と進路に応じた学力の定着を図るとともに、進路実現に向けて指導体制の充実に取り組む。
- ③ 社会人として必要な生活習慣や規範意識、他者への敬愛と協力を重んずる態度を育成する。
- ④ タイムマネジメントに基づき、能率的な部活動や課外活動を推進し、活力のある学校づくりに取り組む。